



7位でゴールする伊藤舞

◇東京マラソン成績

	時	分	秒
【男子】			
①チュンバ(ケニア)	2.05.42	◎	
②トラ(エチオピア)	2.05.57	◎	
③キトワラ(ケニア)	2.06.30	◎	
④キピエゴ(ケニア)	2.06.58		
⑤ソメ(ケニア)	2.07.05		
⑥キアサンク(ケニア)	2.07.37		
⑦チムサ(エチオピア)	2.07.40		
⑧松村 康平(三菱重工長崎)	2.08.09		
⑨小林 光二(SUBARU)	2.08.51		
⑩キルイ(ケニア)	2.09.04		
【女子】			
①ツェガエ(エチオピア)	2.22.23	◎	
②アイババ(エチオピア)	2.22.30	◎	
③カプー(ケニア)	2.24.16	◎	
④ロティチ(ケニア)	2.24.35	◎	
⑤ロソ(ケニア)	2.26.03		
⑥マヨロワ(ロシヤ)	2.28.18		
⑦伊藤 舞(大塚製薬)	2.28.36		
⑧新宅 里香(しまむら)	2.31.15		
⑨上谷 田愛美(日立)	2.31.34		
⑩吉富 博子(ファーストドリームAC)			

陸上・東京マラソン2014(23日・東京都庁―東京ビッグサイト)―男子は、今秋のアジア大会(韓国・仁川)の日本代表選考会を兼ねて行われ、松村康平(三菱重工長崎)が2時間8分9秒で日本勢最高の8位に入った。ディクソン・チュンバ(ケニア)が大会記録を1分8秒縮める2時間5分42秒で優勝。藤原新(ミキハウス)は76位だった。女子は、ティルフィ・ツェガエ(エチオピア)が大会記録を3分5秒縮める2時間22分23秒で制し、伊藤舞(大塚製薬)が日本勢最高の7位だった。(スタート時曇り、気温4度、湿度38%)

伊藤7位 笑顔なし

女子で日本選手トップの7位となった伊藤に笑顔はなかった。「自己ベストを更新できる準備ができたと思っていたので悔しい」。この1年はスピードを磨いてきたが、中間点を過ぎてから足が動かなくなり、自己記録に3分10秒も届かなかった。2011年世界選手権代表の29歳。「故障も体調不良もなく練習できていたのに」と肩を落としていた。